

県独自の緊急事態宣言 2月28日まで延長

☎ 保健センター ☎ 85-6900

記事の情報は2月9日現在のものです。最新の情報は市ホームページを確認してください。

公共施設の開館状況

市内の公共施設は、感染対策を十分に取ながら再開しています。利用の際は、3密(密閉・密集・密接)の回避やマスクの着用などの基本的な感染症対策の実施をお願いします。



◆開館時間を短縮して再開している施設

- ・あけぼの、さくら荘、かたらいの郷 9:00～17:00
(入浴10:00～16:30)
- ・地域子育て支援センター(4カ所) 10:00～11:30
- ・取手ウェルネスプラザ 8:30～17:30

◆9日以降も休館している施設

- ・げんきサロン(4カ所)、福祉交流センター(市役所敷地内)
- ・お休み処(2カ所) ※2月28日まで休館予定。

◎定員などの利用の制限は、各施設にご確認ください。

ワクチン接種に向けて

市は、市民の皆さんのワクチン接種に向けて、2月1日保健センター内に「新型コロナウイルスワクチン接種推進室」を新設し、クーポン券作成やコールセンター設置などの準備を進めています。

国は、65歳以上の方のワクチン接種の開始時期は、早くても4月1日以降になるという見込みを示しました。

✍ 具体的な接種方法などは決まり次第お知らせします

◆ワクチン接種をかたる不審電話にご注意ください！

市職員がワクチン接種のために、金銭や個人情報を電話で求めることはありませんのでご注意ください。



国がワクチン接種相談窓口を設置

厚生労働省は、2月15日午前9時から新型コロナウイルスワクチン全般に関する各種相談に対応する電話相談窓口を設置しました。

☎ 0120-761770 (フリーダイヤル、無休・9:00～21:00)

県独自の緊急事態宣言が2月28日まで延長されました。県内全域で不要不急の外出・移動の自粛と、国の緊急事態宣言が発令されている地域への不要不急の往来の自粛をお願いします。取手市の感染状況を見ると、濃厚接触者の割合が多く、家族や知人などからの感染が疑われるケースが増えています。引き続き、感染防止対策の徹底をお願いします。

Q&A

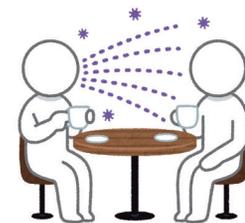
濃厚接触者に関する相談でよくある質問と回答を紹介します。

Q1 濃厚接触者とはどのような人？

検査で陽性となった方(陽性者)が発症する2日前(陽性者が無症状の場合は検体採取日の2日前)から、次のような接触のあった人を指します。

- ▶ 陽性者と同居または長時間の接触
- ▶ 陽性者と手が触れることのできる距離(約1メートル)で、感染予防策(マスクなど)をせずに、15分以上接触

☑ 接触の程度などを保健所が調査し判断します



距離 1m 以内

マスクなど無し

15分以上

同じクラス・職場で陽性者が発生しても、一概に濃厚接触者になるとは言えません

Q2 家族の1人が濃厚接触者に。他の同居家族も濃厚接触者になる？

濃厚接触者と接触しても、すぐに濃厚接触者と判定されるわけではありません。濃厚接触者である家族の方が検査で陽性となれば、保健所が改めて調査し必要な方には検査をします。

Q3 濃厚接触者になったら、何に注意すればいい？

濃厚接触者と判断されたら、陽性者と接触後14日間は保健所の指示に従ってください。検査結果が陰性でも感染している可能性はあるため、健康状態に注意を払い、不要不急の外出は控えてください。



相談窓口

受診の前にまず電話をしましょう！

新型コロナウイルス感染症全般、心配な症状が出たとき

- ▶ 茨城県庁 ☎ 029-301-3200 (無休・8:30～22:00)
- ▶ 厚生労働省 ☎ 0120-565653 (フリーダイヤル、無休・9:00～21:00)

市民意見公募(パブリックコメント)結果

取手市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画(案)

☎ 環境対策課 ☎ 内線 1417

「取手市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」の改定に向けて、皆さんから意見を募集しました。その結果、2人から8件の意見を頂きました。寄せられた意見とそれに対する市の考え方は次の場所で公表しています。

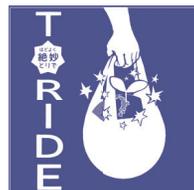


公表期間 3月15日(月)まで
公表場所 環境対策課、藤代総合窓口課、取手支所、取手駅前窓口、取手図書館、ふじしろ図書館、各公民館、市ホームページ
◎寄せられた個々の意見に対する直接の回答はしません。また、意見以外の個人情報は公開しません。

エコバッグデザインが決定

☎ 環境対策課 ☎ 内線 1412

県立取手松陽高等学校美術科の生徒5人が制作した、市エコバッグのプリントデザイン候補作品の展示と投票を実施しました。開票の結果、総数333票のうち、最も多い99票を獲得した同校2年生の宮嶋凜^{みやじまりん}さんの作品が選ばれました。今後、市の環境に関する事業や環境キャンペーンなどでエコバッグを配布し、4R運動の推進とマイバッグ利用を呼び掛けていきます。



▶ デザイン

人の手が持つエコバッグが地球を包み、そこから芽が生え周囲に光を放っています。環境への意識の芽生えや、地球の未来を照らす手助けになってほしいという願いが込められています。

